

ロクオンソウ

Cynanchum amplexicaule
(Sieb. et Zucc.) Hemsl.

ガガイモ科
Asclepiadaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IB

選定理由	東北、四国の一部と九州に分布し、本県での生育地は極めて少ない。湿地周辺や草地に生育し、土地開発や植生遷移の進行による環境の悪化で、絶滅の危険性が極めて高い。
県内分布	別府湾沿岸域、豊後水道域
分布域	本州 四国 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島 中国・中国(東北部) 蒙古 中国 ウスリー
生育環境	低地の草地。
現 状	いずれの生育地も狭い範囲に少数の個体が生育している。「別府湾沿岸域」のものは、他の地方からの客土由来によるものと思われる。
備 考	異名:ヒゴビャクゼン

クロバナイヨカズラ

Cynanchum japonicum Morren et Decaisne
var. *puncticulatum* (Koidzumi) Hara

ガガイモ科
Asclepiadaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由	本県では海岸の岩上や路傍の崖地などに生育し、生育範囲は狭い。崖の崩壊防止工事で消滅した生育地もあり、絶滅の危険性が高い。
県内分布	豊後水道域
分布域	本州 四国 九州(福岡・大分・鹿児島)
生育環境	海岸の崖地や岩上。
現 状	岬の先端部や島に生育し、母種のイヨカズラもみられるが、当該地域の南に遍在し、生育する範囲は狭い。
備 考	イヨカズラの変種で、花は黒紫色、茎は蔓状に長く伸びるものが多い。

タチカモメヅル

Cynanchum nipponicum Matsumura
var. *glabrum* (Nakai) Hara

ガガイモ科
Asclepiadaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由	本県では主として火山性高原の湿地に生える。生育地は点在し、個体数も少ない。湿地の開発や生育環境の乾燥化で、生育地の減少や消滅が懸念される。
県内分布	中津・宇佐低地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群
分布域	本州(近畿地方以西) 四国 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎) 朝鮮半島
生育環境	低地から山地の湿地。
現 状	「九重火山群」の生育地では、湿地開発で消滅した所がある。